

市政活動報告

良友会会報 あすなろ

発行者 良友会 発行責任者 井手口良一 事務局・大分市府内町1-4-16 河電ビル3階303号室 電話番号 097-537-0556 FAX番号 097-533-9668

ご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年12月16日の総選挙で3年3カ月の民主党政権に対する審判が下りました。小選挙区制度の恐ろしさでしょうか、国民の皆さまの審判の結果は民主党にとってあまりにも無残でした。さすがに自民党の幹部は勝って兜の緒を締めなおしているようですが、地方組織をもとより、自民党所属の地方議員や自民党支持者たちの巻き返しが始まります。

企業への締め付けや行政への圧力など、少しでも目を離すと、地方政治が時代を遡行してしまいかねません。わたしたち地方議員の責任はその重大さをさらに増しています。

これから7月の参議院議員選挙までは、これまでとは逆の立場で、衆参ねじれ国会が続きます。その間、国民は、特に東日本大震災の被災地の皆さんはイライラがつのる一方でしょう。

その国の政局の行方も注視していかなくてはなりません。まずは2月24日の大分市議会議員選挙に向けて、さらに気を引き締めて参ります。世界的な経済と政治の混迷の中、この大分市の市民福祉の向上を志しながら、少しでも暮らしやすい、少しでも安心して暮らせるまちづくりを目指して頑張っています。

これからも「未来を見すえ」「全体を見ながら」「おひとりおひとりの声」を市政に反映して参ります。

何かと前途多難な新年ではありますが、どうか、この井手口良一を信じてください。そして迎え来る大波、荒波を共に乗り切って行きましょう。

井手口良一

視点・論点・問題点

1. 12月議会一般質問（抜粋）

1-1. いじめ問題

インターネット上のアンケート専門サイトが本年8月5日～8月8日に107万人を対象としていじめ問題に関するアンケート実施しています。今回、わたしはその集計結果をもとにいじめ問題について論議しました。

このアンケートによりますと、10代から40代までの回答者の実に57.2%が「いじめられたことがある」と答えています。また、誰かをいじめたことがあるかとの問いに対しては、はっきり自覚していた場合と、後日いじめていたと気づいたケースを足しますと42.6%の回答者が「ある」と答えています。

さらに、平成10年から国立教育政策研究所が実施している「いじめ追跡調査」では、小学校4年から中学3年までの6年間で、いじめられた経験者は90.3%、いじめた経験があると答えた子どもが88.9%という、悲しい結果が出ています。



12月6日午後2時から1時間質問に立ちました。

質問①いじめの本質的な原因

学校現場を取り巻く環境の中で、何がいじめの本質的な原因となっていると考えているか？

教育長答弁

いじめの背景には家庭におけるしつけ、学校における指導の在り方、地域や社会が抱える問題や社会的風潮など、家庭・学校・地域社会それぞれの要因が複雑に絡み合っている。

少子化や核家族化の進む中、コミュニケーション能力や社会性が身に付きにくくなっていることに加え、ルールの中で自己を主張しながら学び育つ環境が失われつつあることも、いじめを生み出す一つの要因になっているのではないかと考えている。

井手口の視点

いじめは被害者の疎外感や社会に対する不信感を募らせるだけでなく、いじめる側の心をもむしばんでいきます。

学校におけるいじめの最も根源的な原因は、学歴偏重社会における、特に親たちの過重な期待感と競争意識の過熱にあると、わたしは確信しています。しかしながら、ではそれを解消することができるかといえば、今の日本の社会では到底かなわぬ夢でしかありません。従って、いじめ対策は結局のところ対症療法に終始してしまわざるをえません。

ただ、少しでも心豊かな子どもを育むことが、いじめの発生を少しは抑えることに通じるとも考えて、わたしは感性の育みを研究する学会「感性教育学会」に所属して、読み聞かせ用の童話を書き続けています。

質問②子どもと教員の信頼関係

そのアンケートでは、いじめられた時、誰に相談したかという設問に対して、先生に相談したという回答者は全体の10%でしかない。このことについて教育長の感想は？

教育長答弁

大分市の場合、平成23年度の実績でいじめを受けた子どもの約30%が学校の教職員に相談できていません。だれにも相談していないケースも約9%ありました。

児童生徒や保護者とのさらなる信頼関係の構築を図り、相談しやすい雰囲気や環境を、日常の学校生活の中で作るとともに、社会全体で重層的に支援す

ることが不可欠と考える。

井手口の視点

幸いにして大分市の場合、いじめられた子どもたちの約70%が担任または担任以外の教職員に相談をしています。そのことには安心できます。

教員と子どもたちとの信頼関係が失われることがあるとしたら、それこそ学校現場にとって由々しき事態と言わざるを得ません。その信頼関係は教壇に立つ教員と、それを自席から注視する児童生徒という、対じする関係からは生まれません。むしろ、わたしの経験では放課後に芝生の上などに車座になって座って何かを語る関係や、共に歩きながら語り合う関係、同じ方向を向いた、同じ目線から生まれると考えているところです。

質問③

教育の現場では、教員が本来業務である子どもと共有する時間が減少しているのではないかと？何が教員から子どもたちと共有する時間を奪っているのか、なぜ教員が子どもたちに向かい合う時間を多くとることができなくなっているのか。

また、今後どうすれば、児童生徒と教員の間に、そのような時間を多く持つことを可能にできると教育長か考えているか？

教育長答弁

子どもの状況の変化や保護者、社会からの要請が多様化・高度化する中で、教員の仕事はこれまで以上に多岐にわたってきていること、社会全体の価値観が多様化していること、子どもの教育をめぐる学校の指導の在り方を説明することに、相当のエネルギーを傾けざるを得ない状況にあること、さらに学校が作成する事務的な調査資料などの量が増加していることなども、教員が子どもと向き合う時間の確保を難しくしていると考えます。

教員が子どもと向き合う時間を拡充するため、全小中学校に「学校現場の負担軽減ハンドブック」を配布し、業務の改善や見直しを進めている。さらに、子どもとの共有時間の確保という見地から、教職員の定数増について国、県に対して引き続き強く要望していきたい。

井手口の視点

先生方が子どもたちと共有する時間そのものが減少しているのではないかと感じています。

わたしたちが子どもの頃は50人学級が当たり前だったにもかかわらず、放課後や土曜日の午後には一緒に遊んでくれたり、日曜日には近所の里山と一緒に出掛けたりしてくれる先生が多くいました。わたしの目から見ても今の先生方に、そんな余裕は時間的にも気持ち的にもないように見受けられます。

教員の本来業務は、進学塾の指導者のような、単に教壇に立って子どもたちに知的情報を提供するティーチングマシンではないはずです。何が教員から子どもたちと共有する時間を奪っているのか、なぜ教員が子どもたちに向かい合う時間を多くとることができなくなっているのか、わたしなりにこれからも考えていきます。

1-2. 教員のメンタルヘルス予防対策

質問④

教員のバーンアウト（燃え尽き症候群）対策はどうなっているか？



行政視察先での論議

教育長答弁

教職員同士で部下や同僚の言動、態度、身体の様子の変化にできるだけ早く気づくことが大切であり、各学校現場の実情に合わせてティートークや職場リクリエーションなどを通して気軽に相談しあえる場作りに取り組めるよう、今年度策定予定のメンタルヘルス対策マニュアルにも、掲載していきたい。

井手口の視点

昨今、教員が病んでいるという社会問題がクローズアップされるようになりました。本来、生真面目で全てを背負い込みやすい教員ほど、その結果としてバーンアウトいわゆる燃え尽き症候群に陥りやす

いということです。報道などで取り上げられているように、職員室の中で、教員のひとり一人それぞれが孤立し、孤独感に苛まれているとしたら、見過ごしにはできない問題と言わざるを得えません。

もちろん、精神的、心理的なケアも重要ではありますが、もっと前にできること、やらなくてはならないことがあると考えます。

どんなに優秀な教員であっても、ひとりの力で何でもできるわけではありません。学校全体が強固な信頼関係のもとに協力一致してこそ、子どもたちの心豊かな育みが可能になるはずです。しかしながら、これもまた、昨今の社会状況下では、教育委員会が何らかのシステムを構築せざるを得ないと考えています。

1-3. 不登校児童生徒の居場所対策

質問⑤

不登校児童生徒の居場所対策として、BBS（ビッグ・ブラザーズ&シスターズ）所謂、ちょっと年上のお兄ちゃん・お姉ちゃんとして、大学生との協働を考えているか？

教育監答弁

心理学や教育学を学ぶ大学生や大学院生が、メンタルフレンドとして、家庭訪問を行い話し相手や遊び相手になる訪問相談事業を実施しており、その効果も実証されている。今後はメンタルフレンドの一層の活用に向けて、幅広く周知していきたい。

井手口の視点

わたしは以前から、この本会議の場でも同様に質問をくり返してきました。大分市は今後、ホルトホールやシンボルロードなど、不登校児童生徒を受け入れ、活動させるための新たな場の提供が可能になります。場の多様化も大切ですが、子どもたちのケアやサポートをしてくれるボランティアの多様化も重要です。

そのボランティア対象者として、最も頼りになるのがBBS（ビッグ・ブラザーズ&シスターズ）所謂ちょっと年上のお兄ちゃん・お姉ちゃんなのです。学生との協働は彼らの行動力や創造性を提供してもらおうとともに、心理学や教育学を学ぶ学生に、体験の場を提供することができるという双方向のメリットがあると考えています。今後とも、行政と学生の双方に働きかけていくつもりです。

1-4. 学校現場における防災教育

質問⑥子供たちによる避難所運営実習

学校における防災教育の一環として、避難所運営実習などを取り入れてはどうか？

教育監答弁

災害の発生時や事後において、子どもたちが安全に関する情報を正しく判断し、適切な行動をとり、自らの命を守るとともに、状況に応じて進んで地域のために役立つ行動をとることは、大切なことと考える。

学校や地域の実情に応じた防災教育を一層、充実するよう指導していきたい。

井手口の視点

学校現場での防災訓練や防災教育は、ややもすると子どもたちを弱者・要保護者と考えあまり、受け身の存在としてのみ扱いがちです。しかしながら、特に中学生の場合、非常事態下においても、十分に大人と同等以上の能力を発揮してくれます。

また、避難所での生活を想定した訓練や救助する側に立った救急救命訓練は、座学としての防災教育に比して、実践的効果が高いという専門家の意見も出されています。既に、このような見地から子どもたちに避難所での生活を想定して、その避難所をより住みやすい場所にするためのアイデアを出させたり、実際に子どもたちが避難所を運営する実習などを実施している都市もあります。

今後、大分市においても、中学校における防災訓練や防災教育の際に、子どもたちによる避難所の運営を想定したワークショップやロールプレイ型の訓練、自分たちで独自の避難所運営マニュアルを作る防災教育実習など、教員に導かれるままに行動する受動型ではない、自らが自律によって考え、立案し、行動する能動型の訓練を導入するべきと考えています。

2. これからの市政の課題

①防災危機管理

大分市は来年3月10日（日曜日）には全市一斉総合防災訓練を計画しています。また、3月30日には大分市独自の防災マニュアルを作成し、全戸に配布する予定でもあります。

わたしたちの災害に対する感覚が、まだまだ新鮮なうちに、自分のたちの住む町の環境、住む家の状

況、家族の思いなどを話し合い、確認し合う必要があります。

行政が市民の生命財産を守ることは至上命題ではありますが、自分や自分の家族の命は結局、自分たちで守るんだという気構えがなくては、災害に立ち向かうことはできません。

わたしはこれまでも防災危機管理について、最も力を入れてきましたが、ルーチンワークは得意でも、非常時の対応は苦手という行政の特質を理解しつつ、防災危機管理行政に万全を期すよう頑張ります。



サウダージの会での防災ワークショップ

②アセットマネジメント

1960年代後半から70年代までの所謂行動経済成長時代に、多くの施設やインフラが整備されました。そして、それらの施設やインフラの更新期を迎えようとしています。

人口の減少期に入り、長らく経済が低迷する中で、高度経済成長期と同じか、それ以上の負担をこれから強いられようとしています。まずは学校の校舎や公民館などからトンネルや橋、地下に埋まっている水道や下水道の管に至るまでの行政財産の全てにわたって、その実態を詳細に調べ上げ、皆さんに「施設白書」として見て頂き、更新すべきもの、修繕などによって寿命を延ばす努力をすべきもの、統廃合や廃止すべきものなどを一緒に判断していかなくてはなりません。それがアセットマネジメントの目的です。

③子育て支援

人間がなぜ人間なのかという根源的な見地に立つ

て、本当の意味での子育て支援をめざしていきます。

根源的な子育て支援とは何かといえば、それは「夫婦」「家族」「家庭」の強固な絆づくりです。サル(ボノボというチンパンジーの仲間)からヒトになる道を歩きはじめたときから、人間は急速に頭でっかちになりました。産道の広さの都合から、生まれてくる子どもはサルの世界でいえば未熟児であり、生む母親の方もお産の負担から、母子だけでは生存すらおぼつかないことになりました。それを支えることになったのが特定のオスであり、家族であったわけです。母親を孤独な環境においては駄目だということが、サルから人間へと進化し始めた時からの生存の条件だったという視点から、わたしは子育て支援を考えています。

④ユニバーサルデザイン

障害者に優しい社会は、健常者にとっても優しい社会であることは誰でもわかることです。

また、安心して心豊かなまちづくりのためには、車偏重の移動手段から誰でもが気軽に使える移動手段へと、社会の構造や市民意識の変革が必要です。ユニバーサルデザインという言葉は本来、障害者の視点に立ったまちづくりや社会構造の構築にあるのですが、わたしはさらに、人々がそれぞれの能力や考え方に応じて、満足して暮らせる社会こそがユニバーサルデザインの究極の目標だと考えています。

⑤地域経済浮揚

大分市の人口規模や面積からして、世界に現在ある約200の国々の内でも150～180番目の国に匹敵します。わたしは大分市を一つの独立国として考えて、この大分市国の貿易収支やGDP、ひとり当たりの所得を考えています。

どうすれば地域経済の活性化を実現できるか、あらゆる手段と機会をくり返し、考え、試してきましたし、これからも新しい提案をしていきたいと思えます。

⑥市民協働のまちづくり

釘宮市長の提唱されてきた「市民協働のまちづくり」の考え方は、ようやく市民の皆さんの間に浸透し始めたところです。

行政が何でも決めるのではなく、市民と行政がそ

れぞれの立場から、提案し合い、協力してまちづくりに当たるという考え方は、これからの日本の社会にとって、絶対に見失ってはいけないものです。

既にヨーロッパの多くの国々では市民協働の考え方が定着しています。今後ともさらなるご理解をいただけるよう、わたしも市民協働の手法を提案し続けたいと思っています。

⑦行財政改革

思えば16年前、初めて市議会議員になった時から、わたしはずっと行財政改革を進めてきました。ずいぶんと変わったこともありますし、長年の努力にもかかわらず、未だにどうしても突き崩せないところもあります。

決して手を緩めることなく、これからも「ダイエット」ではなく「シェイプアップ」の視点から行財政改革を進めていきます。

また、その一環として「地方分権」についても、さらなる実効性を求めて、権限・財源の分与や税の徴収から分配の方法などについても積極的に論議して参ります。



市民意見交換会

⑧議会改革

議会もこの16年で大きく変わりました。なんと言っても「議会基本条例」の制定が大きな変革をもたらしました。それでも、議会人にはまだまだ旧体制の遺物のような考え方の人々が大勢いて、油断すると昔の議会に戻ります。

これからはしっかりと足元と前を見据えながら、議会の活性化に向けて頑張ります。

議員活動報告

(平成24年10月1日～12月31日)

10月

- 1日(月) 広報委員会
- 2日(火)～4日(木)
総合交通対策特別委員会視察
鎌倉市・岐阜市
- 4日(木) お出かけ市長室来賓出席
- 5日(金) 大分市戦没者慰霊祭
議会活性化推進会議
- 6日(土) 金池小学校運動会来賓出席
- 10日(水)～11日(木)
全国市議会議長会フォーラムin松山市
- 19日(金) 会派代表者会議
- 22日(月) 議会運営委員会傍聴
- 23日(火)～24日(水)
広報委員会視察
尾道市・高松市
- 29日(月) 会派代表者会議
大分県市議会議長会主催勉強会
- 30日(火) 議会活性化推進会議「若者との意見交換会」
大分経理専門学校の学生たちと総合交通対策特別委員会



若者との意見交換会（大分経理専門学校）

11月

- 1日(木) 中央通り整備グランドデザイン説明会
- 2日(金) 議会活性化推進会議
- 3日(土) 豊府校区豊府祭り来賓出席
- 4日(日) 大分市消防団第一方面隊内点検
- 7日(水) 議会活性化推進会議「若者との意見交換会」

日本文理大学

- 8日(木) 総務常任委員会
- 9日(金) 会派代表者会議
議会運営委員会傍聴
- 16日(金) 全員協議会
- 22日(木) 政策調査費理事会
議会運営委員会傍聴
政策研究会役員会
広報委員会
- 28日(水) 由布大分環境衛生組合議会
- 30日(金) 平成24年第4回定例会議
全員協議会、議会全体勉強会

12月

- 5日(水) 議会活性化推進会議
- 6日(木) 本会議（一般質問）



一問一答方式で質問中

- 7日(金) 本会議（一般質問）
- 8日(土) 大分市制100年記念事業フェスティビタス・ナタリス来賓出席
- 10日(月) 同僚議員県知事表彰受賞祝賀会
- 12日(水) 総務常任委員会
- 13日(木) 議会運営委員会傍聴
総務常任委員会
- 14日(金) 総務常任委員会（付託議案審議など）
- 17日(月) 議会本会議（採決など）、広報委員会
総務常任委員会
- 21日(金) 広報委員会
- 27日(木) 議会活性化推進会議

この会報はワークスペース「樫の木」、小規模作業所「どんぐりの家」の皆さんに、折り加工と封入作業をお願いしています。

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

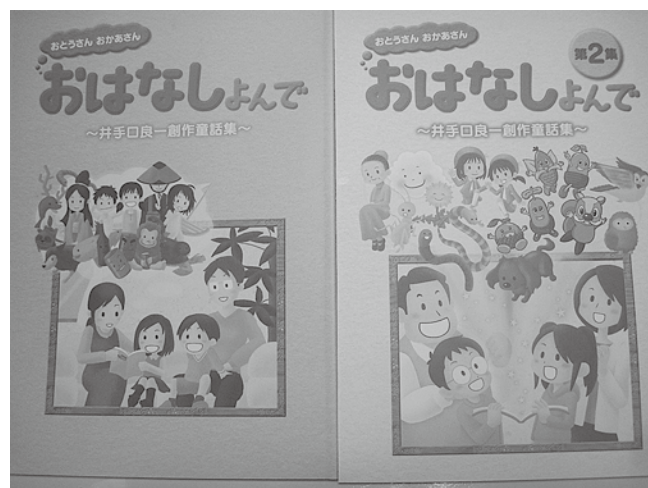
旧年中はいでぐち良一後援会「良友会」の活動にご理解とご支援を頂き、ありがとうございました。衆議院選挙も予想以上の大揺れで不安材料を残すことにはなりましたが、それなりに決着し、日本は新しい舵取りのもとに、荒海に乗り出すことになりました。

次はいよいよ大分市議会議員選挙の番になります。乱立気味の選挙戦の中、万が一にも井手口が後れをとるようなことがあっては、我々後援会はもちろん、大分市にとって取り返しがつかないことになります。

これまでの井手口の活動を一番知っておられる皆様方が、その知っておられることを少しでも多くの方々にお伝え頂くことが、勝利への何よりの近道であると確信しています。

どうか、厳しい時代を井手口とともに乗り越えていくために、最後までのご協力とご支援をお願いいたします。

良友会会長代行・一七会代表幹事
足立雅直



11月にまた新しい童話集（左側）を出してもらいました。

か。わたしは今でも子どもたちの声が耳から離れません。先日、あの母親に懲役30年の判決が下されました。ただ、わたしは子どもたちを置き去りにした母親だけを責める気にはなれないのです。わたしはむしろわたし自身を責めています。わたしはあの子どもたちを死なせた、この理不尽で非情な社会を共有していた大人というだけでも、自分もまた責められるべきだと感じています。

今回のわたしの教育長への質問で明らかなように、今の学校現場ではほとんどの子どもたちが何らかの形で「いじめ」に関わり、ほとんどの子どもたちがいじめる側にもいじめられる側にも立っているのです。いじめによって、子どもたちは疎外感、社会に対する不信感をつのらせます。

現代社会の病巣の犠牲者はあの子たちだけではありません。多くの子どもたちとその母親達が今、あの子たちやあの子たちの母親と同じように泣き声を上げています。

その声の存在を想像しながら、この「風の道」を
読んでみてください。

コラム 「風の道」

下に掲げました詩は一昨年、大阪でアパートに母親に置き去りにされて餓死した、3歳の女の子桜子ちゃんと1歳の男の子楓君の事件を知って、わたしが所属している詩誌「心象」の187号に掲載しました。皆さんはあの事件をどのように感じておられます

風の道
 夕焼けの残り日が
 今しも消えようとしている時
 薄明るい川面に
 誰が通っていったのか
 風の道が開いた
 ごめんなさい ごめんなさい
 お母さん ごめんなさい
 母に捨てられ
 暗闇の中で泣き続け
 泣きくたびれて死んだ幼子たちの
 魂を抱えて途方にくれた
 蓬莱船の船頭たちか
 ごめんなさい ごめんなさい
 お母さんをゆるして ごめんなさい
 がんばって 頑張って
 頑張りきれずに逃げ出して
 子どもを捨てて迷子になって
 耳をふさいで泣きながら
 さまよい歩く母の
 つぶやき続けた言葉か
 夜の帳が降り
 川面にひそやかな漣がにじむと
 風の道はまっすぐに
 わたしの胸を貫き通した
 ごめんなさい ごめんなさい
 ごめんなさい ごめんなさい
 黒々として境目の見えない水平線に
 ごめんなさいの残響が
 頼りなげな星のように瞬いている

後援会などの活動日誌

(平成24年10月1日～12月31日)

10月

- 1日(月) 連合大分議員懇談会
- 6日(土) 大分県JICA専門家連絡協議会
- 12日(金) 旭メディカル労組定期大会
- 17日(水) つかさ会
- 18日(木) 良友会事務局会議
- 19日(金) 友愛連絡会議会報告会
- 20日(土) 連合大分政治研修会
- 21日(日) ばん友会ファミリーピクニック
- 26日(金) サウダージの会
- 29日(月) 絵と詩のコラボ展開会

11月

- 3日(土) 絵と詩のコラボ展反省会
- 4日(日) 絵と詩のコラボ展閉会
- 5日(月) 大分合同新聞社コラボ展開会の挨拶
- 6日(火) つかさ会
- 8日(木) 宮脇建設ミニ集会
良友会事務局会議
- 9日(金) 県議会への陳情
- 10日(土) 良友会事務所開き神事
- 12日(月) ㈱吉原朝礼ミニ集会
ジョイフル労働組合定期大会
- 13日(火) ㈱ソイルテックミニ集会
- 14日(水) ㈱技功団ミニ集会
良友会事務局会議
- 15日(木) 商業労組会議
- 16日(金) 日本硫炭工業労組定期大会
NPO法人アイ・ラブ・大分ミニ集会
- 17日(土) 一七会
- 18日(日) 一碗茶ボランティア国際交流集会
- 19日(月) 連合大分議員懇談会
- 21日(水) 中小企業同友会総会(オブザーバー)
- 22日(金) UAゼンセン大分県支部定期大会
- 24日(土) フジボウ労組大分県支部定期大会
首藤忠良先生を囲む会
- 27日(火) 市役所職員舞鶴高校同窓会総会
- 29日(木) 旭化成労組女性部会
- 30日(金) 太陽機材朝礼
YA会ミニ集会

12月

- 1日(土) 河野会計事務所ミニ集会

感性教育学会大分県支部ワークショップ

旭映会ミニ集会

良友会拡大幹事会

3日(月) 議会舞鶴会

5日(水) 野分け会

7日(金) ㈱ランドスケープ大分朝礼ミニ集会

11日(火) つかさ会

12日(水) 良友会総会

14日(金) つごもり会ミニ集会

15日(土) 一碗茶会クリスマス茶会

SA会ミニ集会

16日(日) 詩誌心象合評会・編集会議

17日(月) ㈱新陽工事夕礼ミニ集会

18日(火) 多田胃腸科医院ミニ集会

19日(水) 22会

20日(木) ㈱中山建材ミニ集会

大分県友愛会情報交換会

22日(土) ㈱ランドスケープ大分ミニ集会

23日(日) おおとり会ミニ集会

会費納入の御礼と会員拡大のお願い

良友会の活動の拡大のため、この市政報告、あすなろを多くの方に読んでいただきたいと思います。ご友人、職場のご同僚の方、ご家族などにもあすなろをご紹介下さい。

もちろん新しい会員のご紹介、ご勧誘もお願いいたします。

会費 一般会員 (年間・1口) 1,000円

賛助会員 (年間・1口) 10,000円

良友会名義の口座番号

大分銀行 上野支店 「いでぐち良一後援会」良友会 5036576

豊和銀行 上野支店 「いでぐち良一後援会」良友会 1035694

ゆうちょ銀行 「いでぐち良一後援会」良友会 17290-12491381

編集後記

これからの日本がどうなっていくのか、予断を許さない状況が続きます。とにかく、健康を保ち、情報のアンテナを高くして頑張りましょう。(I)